

2026 年度 一般入学試験（1 月 30 日）

国

語

（試験時間 60 分）

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、30 ページあります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～13）に答えなさい。

「ナチスは良いこととした」という議論が、定期的に繰り返し返されている。

最近の事例としては、二〇二二年二月に、小論文を教える予備校講師のツイート（注1）がちよつとした騒ぎとなった出来事が挙げられる。そのツイートは、指導する女子高生が「ヒトラーのファンでナチスの政策を徹底的に肯定した内容」の小論文を提出したが、「文体が完璧」でテンサクに困った、というものだった。

二〇二二年七月には、ドナルド・トランプ大統領が在任中の二〇一八年に大統領首席補佐官ジョン・ケリーに対し、「ヒトラーは良いことをたくさんした」と発言したと報じられた（トランプ自身はそれを「フェイクニュース」であるとして、発言したことを否定している）。ドイツでも状況はそれほど変わらない。二〇〇七年に、あるニュースキャスターが家族政策やアウトバーン（注2）などナチスの政策には良い面があったという趣旨の発言をして、世論を二分する騒動になったことがある。

「ナチスは良いこととした」という議論は、なぜこれほどまでに沸騰（注3）するのだろうか。そもそも「良いこと」とは何なのだろうか。

まず考えてみたいのは、「ナチスは良いこととした」とあえて発言することがもつ意味合いだ。何を「良いこと」「悪いこと」と考えるかは最終的には個人の価値観の問題だとするならば、【a】なぜこのようなことが議論になるのかがわからない、人それぞれ考えが違うということではないかという立場も、あり得ると言えばあり得る。

【b】実際には、そのような立場はほとんどの人にとって受け入れがたいものとなる。それはおそらく、「ナチスは良いこととした」という場合の「悪いこと」について、ほぼ共通理解があるからだろう。戦争、ホロコースト（注3）、障害者に対する「安楽死」、政治的な敵対者に対する抑圧などがそれである。これらを「良いこと」であると表明することは、現代社会において許容されない。「良いこと」だと主張する人が時々あらわれることはあるが、幅広い共感を得られない。

（A）前述の女子高生による小論文は、「虐殺の有用性」を肯定する内容だったことが後に明らかになった。それもあってか、ネッ

ト上での議論もキウソクに冷めていった。

ここからもわかるように、現代社会においては、ナチスには良くも悪くも「悪の X」のような位置付けが与えられている。ナチスは「私たちはこうあってはならない」という「絶対悪」であり、そのことを相互に確認し合うことが社会の「歯止め」として機能しているのである。「ナチス」と名指しされて、それを受け入れる人は現代社会にはほとんどいないだろう。自分分はナチスとは違ふと、否定する人間が大多数ではないだろうか。

こうした意味で、ナチス認識はその裏返しである「私たちの社会はこうあるべき」という、「政治的(B)正しさ(ポリコレ=ポリティカル・コレクトネス)」と密接につながっている。

そしてまさにこの点にこそ、少なくない人びとが「ナチスは良いこととした」と語りたくなる原因がある。

一つには、「物事にはつねに良い面と悪い面があるのだから、たしかに戦争やホロコーストなどは悪いことだったかもしれないけれども、探せばいろいろと良い面もあったのではないか」という、それ自体としては真つ当な疑問がある。民主的に選ばれた政権だ、アウトバーンを作った、失業率を低下させた、経済を建て直した、^(注もろっころ)歎喜力行団で誰でも旅行に行けるようにした、有給休暇をカクジュウした、禁煙政策を進めた、先進的な環境政策をとった、制服が格好いい、などなど。これらには事実認識として誤っているもの、事実関係は間違っていないが各々の政策が置かれている歴史的文脈への理解が不十分なものが数多く含まれている。さらには、多くのドイツ人が熱狂的にナチ体制を支持していたのだから、少なくとも当時は「良い」こととされていたのではないか、という意見もある。「当時の人びと」の価値観はけっして一枚岩ではないし、支持していたことと「良い」と思われていたことはイコールでもないのだが、^イともあれきちんと考えてみる必要のある意見ではある。

ただし「歴史に善悪を持ち込むな」「尺度は時代や文化で変わる」という、しばしば見られる(そして一見正論に見える)議論については、ここで一言述べておく必要があるだろう。

善悪を持ち込まず、どのような時代にも適用できる無色透明な尺度によって、あたかも「神」の視点から超越的に叙述するこ

とが歴史学の使命だと誤解している。Y は多い。端的に言つてそれは間違いだし、そもそも不可能である。誰もが社会のなかで生きていて、そこから何らかの影響を受けており、それぞれに価値観をもっている。人びとがそれぞれに過去を自分の立ち位置から切り出してくるなかで、切り取られてきたものの妥当性を相互チェックするというのが学問本来のあり方だろう。「無色透明」な歴史叙述という不可能な到達点をめざすのではなく、自分にも他人にも色があることを認めた上で、相互チェックによって誤りや偏りを正していくことである。

実はもう一つ、少なくない人びとが「ナチスは良いこととした」と語りたがる理由がある。そういう主張によって、現代社会における「政治的正しさ（ポリコレ）」をひっくり返すことができるのではないかと考えられているのだ。ただし、これについては、ここではさしあたって、次のことを確認するにとどめておきたい。すなわち、^C「ナチスは良いこととした」という主張には、歴史学の立場から丁寧な「話せばわかってもらえる（かもしれない）」次元と、議論する者それぞれの立場性に絡む「話してもわかり合えない（かもしれない）」次元の両方が含まれている、ということである。

歴史的事実をめぐるこうした問題を別の観点から整理すると、〈事実〉〈解釈〉〈意見〉の三層に分けて検討することができるかもしれない。

歴史学は何らかの形で事実性に立脚しなければならない。それに反するものは主張の根拠とすることはできない。この点にはほとんどの人が同意するだろう。ここで^D「事実」ではなく「事実性」という言葉を使ったのは、たとえば一九三三年一月三〇日にヒトラーが首相に任命されたという揺るぎない「事実」だけでなく、先ほど述べたような、当時の人びとがどう思っていたかという「心性」のような問題も歴史学は扱うからだ。その場合、日記でも手紙でも、裁判記録でも聞き取り調査でも、とにかく検証可能な何らかの形の根拠にもとづいていなければならない。もちろん過去のすべてが記録に残っているわけではないから、推測を迫られることもあるが、そうであっても、すでに明らかになっている事実性に矛盾するような推測は許されない。

そういう意味で、「ヒトラーはアウトバーン建設によって経済を回復させた」という主張は、端的に言つて事実在即していな

いし、「ナチスの制服が格好いいのはヒューゴ・ボスがデザインしたからだ」というしばしば見られる主張も、根拠のあるものと見なすことはできない。ボスが制服を卸していたのは事実だが、デザインしていたという事実は確認されていないからだ（ボスがファッション・ブランドになったのは戦後のことで、ナチ時代は制服を卸すホウセイ工場（ホウセイ）の一つにすぎなかった）。

もつとも、こうした〈事実〉のレベルで片付けられる問題は、実はそれほど多くない。歴史学においておそらくもつとも重要な、しかし社会においてしばしば非常に軽視されがちな点が、二番目の〈解釈〉の層、歴史研究が積み重ねてきた膨大な知見である。たとえばナチスの家族政策を例に考えてみよう。

Z

「目的や文脈などはどうでもいい、良いものは良いのだ」と感じる人も、ひょっとしたらいるかもしれない。たしかに三つ目の層である〈意見〉は最終的には個人的なものであるから、そのような考えをもつこと自体を止めることはできない。ただしそこでぜひとも知っておいてもらいたいのが、ドイツ語の「Tunelblick」という言葉である。そのまま日本語に訳すと、「トンネル視線」とでもなるだろうか。自分にとって都合の良いところ（この場合は「ナチスの良いところ」）だけを照らし出し、それ以外が見えなくなっている状態を指す。

〈解釈〉という層が非常に重要である理由が、まさにこの点にある。歴史研究の蓄積を無視して、〈事実〉のレベルから〈意見〉の層へと飛躍してしまうと、「全体像」や文脈が見えないまま、個別の事象について誤った判断を下す結果となることが多いのである。そうした目的や文脈を含めてもおお「良いこと」とキョウベン（ホ）することは可能かもしれないが、現代社会においてそれ

が共通了解となることはおそらくないだろう。これは一般読者でも研究者でも状況は同じである。一次史料ばかり収集しても関連する研究文献をきちんと読み込んでいなければ、研究者ですら思い違いを免れない。^E歴史学で卒業論文を執筆する学生が「研究史が何よりも大事だ」と耳にタコができるほど聞かされるのも、基本的には同じ理由による。

もちろん、歴史研究者も万能ではない。思い違いをすることもあるし、他者の批判を受けてようやく認識の不足に気付くということもある。しかしだからといって、〈解釈〉の層を飛び越してよいということにはならない。〈事実〉から〈意見〉へと飛躍することの危うさは、何度でも指摘しておく必要があるだろう。〈意見〉をもつことはもちろん自由ではあるが、それはつねに〈事実〉を踏まえた上で、〈解釈〉もある程度はおさえたものでなくてはならない。

二〇二二年度から高等学校で「歴史総合」が始まり、歴史事象について自分の〈意見〉をもつようもめられることが増えていくだろう。その際、〈事実〉〈解釈〉〈意見〉という三層構造は、「歴史的思考力」の前提としていよいよ重要になってくるはずである。

（小野寺拓也・田野大輔の文章による。ただし、一部変更した。）

（注） 1 ツイート … 大手SNSである「ツイッター」での投稿を指す語。現在では、サービス名が「エックス」に変わったことに伴い、「ポスト」という語に変更されている。

2 アウトバーン … ドイツの自動車専用高速道路。ナチス政権下で建設が推進されたが、計画と工事自体はそれ以前より始まっていた。

3 ホロコースト … ナチスドイツによるユダヤ人の大量虐殺。約六〇〇万人が犠牲となった。

4 歓喜力行団 … ナチスドイツの余暇活動提供組織。廉価な休暇旅行や娯楽などを計画・提供し、大衆の支持につなげた。

問 1 破線部ア「沸騰する」・イ「ともあれ」の本文中の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は 1・2。

ア 「沸騰する」

- 1
- ⑤ 液体が気体になる

④ すぐに忘れられる

③ 分析の対象となる

② 一時だけ思い出す

① 激しく盛り上がる

イ 「ともあれ」

- 2
- ⑤ 冗談はさておき

④ そっくりそのまま

③ きちんと受け止めて

② いずれにしても

① あとでゆつくりと

問2 空欄【 a 】・【 b 】に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

3

・

4

。

a

3

① ならびに

② さらに

③ すなわち

④ そもそも

⑤ ほぼ

b

4

① しかし

② そもそも

③ なぜなら

④ また

⑤ やはり

問3 波線部(A)「前述の女子高生による小論文」とあるが、筆者がこのエピソードを紹介する理由として最も適切なものを、次

の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 5。

- ① ナチスの思想教育が日本の高校生に浸透していることを示すため。
- ② ナチスに肯定的な言説に対する社会一般の価値観を説明するため。
- ③ ネット上の一過性の議論は基本的に無価値であると証明するため。
- ④ 他国に比べて劣っている日本の小論文教育の現状を批判するため。
- ⑤ 冒頭にあまり関係のない話題を紹介し本題に入りやすくするため。

問4

波線部(B)「政治的正しさ(ポリコレ)ポリティカル・コレクトネス」とあるが、これはどういうものだと考えられるか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

6。

- ① 政治的な善悪を自分で考え、他者が認めないものにも価値を見いだす態度。
- ② 特定の人たちに対する差別や偏見を退け、多様性や公平性を重視する考え方。
- ③ 社会全体が法律や憲法を遵守し、それを行動規範とする模範的な振る舞い。
- ④ 特定の政治思想や政党を支持し、その考え方に傾倒するような政治的な信条。
- ⑤ 社会を混乱させる原因となる、個人の偏った言動を抑圧する国家的な規制。

問5

空欄

X

Y

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

7

8

X

7

①

教導

②

極北

③

中庸

④

花道

⑤

連盟

Y

8

①

位置

②

距離

③

高さ

④

方角

⑤

向き

問 6

波線部C)『ナチスは良いこともした』という主張には、歴史学の立場から丁寧に『話せばわかってもらえる(かもしれない)』次元と、議論する者それぞれの立場性に絡む『話してもわかり合えない(かもしれない)』次元の両方が含まれている」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。

解答番号は

9

。

① ナチスを支持するような言動には、個人的な歴史観によるものと現代社会への不満に基づくものがあり、前者は普遍的な事実を伝えることによって解決できる可能性があるが、後者は単なる現実逃避でありそもそもそういった相手とは合意できない可能性が高い、ということ。

② ナチスを支持するような言動には、過去の歴史的事実を根拠とするものと汎時代的な発想に基づくものがあり、前者は現代的な規範に従って説明することで解決できる可能性があるが、後者は無知から事実を曲解したものであるため簡単には合意できない可能性が高い、ということ。

③ ナチスを支持するような言動には、事実の誤解によって生まれたものと価値観や政治的な立場に基づくものがあり、前者は歴史的な検証によって解決できる可能性があるが、後者は現代の社会規範に対する意図的な反発であるため簡単には合意できない可能性が高い、ということ。

④ ナチスを支持するような言動には、歴史学者のほとんどが反対するものと一部では受け入れられているものがあり、どちらも歴史的な事実としてナチスの業績をどう位置付けるのかという点からの評価であって、立場の違いによる賛否両論が存在している、ということ。

⑤ ナチスを支持するような言動には、歴史的な知識の欠如によるものと現代における新しい価値観に基づいたものがあり、前者は事実に基づいた建設的な対話で解決できる可能性があるが、後者は共通理解を深めたところで合意形成の可能性は極めて低い、ということ。

問7 波線部D)『事実』ではなく『事実性』とあるが、両者はどう異なるのか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 10。

- ① 「事実」は過去に実際に起こった出来事や状態そのものであり、「事実性」は史料や証拠に裏つけられた叙述の確からしさを指す。
- ② 「事実」は研究者が観察によって得た普遍的な出来事であり、「事実性」はそこから研究者自身の解釈を含んだ主観的な評価を指す。
- ③ 「事実」は当時の人々の歴史認識であり、「事実性」はそれを現代的な価値観によって検証するという新しい歴史認識を指す。
- ④ 「事実」は歴史学における純粋な研究対象であり、「事実性」はそれを何らかの根拠に基づいて検証可能な形に還元したものを指す。
- ⑤ 「事実」は歴史的な状況から導き出される主観的見解のことであり、「事実性」は価値判断を完全に排した客観的な真理を指す。

問 8

空欄

Z

には、歴史研究における〈解釈〉の層の事例について説明する文章が入る。その大まかな内容を示した次の文章の空欄 I・II に入れるのに最も適切なものを、後の各群の①～④の中からそれぞれ選び、記号で

答えなさい。解答番号は

11

・

12

。

ナチス政権下では、出産奨励のために貸付金免除や物資支給、母親学校などの充実した家族支援政策が実施されたが、これらは現代の日本政府の支援よりも優れていたとして、「I」と主張する者もある。しかし、これらの支援はナチスが政治的・人種的に適格と認めた人々のみに限定され、ユダヤ人や障害者、政治的敵対者らは断種・迫害・殺害などの対象とされた。ナチスの家族政策は、IIであつたのだ。

I

11

① 政治的正しさ

② ナチスは良いこととした

③ フェイクニュース

④ 私たちはこうあつてはならない

II

12

① ナチスによる他民族への融和政策

② 政治的正しさを誇示するプロパガンダ

③ 人種主義的な民族共同体構築のための手段

④ 自民族を増やすことよりも他人種の殺害を奨励する制度

問9

波線部(E)「歴史学で卒業論文を執筆する学生が『研究史が何よりも大事だ』と耳にタコができるほど聞かされるのも、基本的には同じ理由による」とあるが、これはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

13

- ① 歴史学では、一次史料だけでなく、蓄積された研究史から得られる知識によって、「全体像」や文脈を踏まえて歴史的事実を検証する視点をもつことが不可欠であるから。
- ② 歴史学の研究者は研究文献が最も重要だと認識しているため、それらの蓄積を参照せずに行った研究では、正しく〈事実〉を〈解釈〉することができないと信じているから。
- ③ 歴史学の研究史を学ぶことは、一次史料の内容を検証するためではなく、これまでにどのような歴史家がどういった立場から研究を進めてきたのかを整理するためであるから。
- ④ 歴史学では、蓄積された研究史を参照することで普遍的な〈解釈〉を共有することが可能になるため、多様な読みができる史料批判を省略して〈事実〉だけに肉薄できるから。
- ⑤ 歴史学において研究史は、無数に存在する〈事実〉を歴史の中に位置付けるという役割をもち、単一的な〈解釈〉しか行えない一次史料よりも優先して検討する必要があるから。

問10 本文の内容と一致する説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

14。

- ① 「ナチスは良いこともした」という〈意見〉は、多数の事実性に裏付けられた〈解釈〉の一つではあるが、歴史研究では善悪の価値判断に従って事象をとらえなければならないため、現代社会では受け入れられないものである。
- ② 歴史研究は、〈事実〉を出発点として、一次史料を基にした〈解釈〉から普遍的な〈意見〉へと至る、という過程を必ず踏まえなければならず、その検証を経ていない「ナチスは良いこともした」という〈意見〉に学術的価値はない。
- ③ 歴史研究において〈事実〉〈解釈〉〈意見〉という三層構造が重要であるが、〈解釈〉には個別の事象を個人がどうとらえるか、という観点が影響を与えるため、全く同一の一次史料を扱っていても多様な〈意見〉が生まれてくる。
- ④ 歴史的な事象を基にした〈事実〉のレベルから「ナチスは良いこともした」といった〈意見〉へと至る論の進め方には飛躍があり、適切な〈解釈〉による「全体像」や文脈を踏まえずに個別の事象を判断するのは危険である。
- ⑤ 「歴史総合」の授業では、歴史を〈事実〉〈解釈〉〈意見〉という三層構造でとらえ、自分独自の〈意見〉を組み立てるという訓練を行うべきであり、これこそが「歴史的思考力」を鍛え、社会を正しい方向へと進めるのである。

問11 本文の論旨の流れとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

15。

- ① ナチス肯定論の問題 ↓ ナチス認識とポリコレ ↓ 歴史教育の問題点 ↓ 研究史の蓄積の重要性
- ② ナチス政策の歴史的評価 ↓ 現代におけるナチスの位置付け ↓ ナチス認識とポリコレ ↓ 「歴史総合」への提案

- ③ ナチス肯定論の問題 ↓ 現代におけるナチスの位置付け ↓ 歴史叙述のあるべき姿 ↓ 三層構造の重要性
- ④ ナチス政策の歴史的評価 ↓ 無色透明な尺度の不可能性 ↓ 歴史学の二つの次元 ↓ 〈事実〉と〈意見〉の重要性

- ⑤ ナチス肯定論の問題 ↓ 無色透明な尺度の不可能性 ↓ ナチス肯定論の事例 ↓ 三層構造の重要性

問12

ドイツがナチス政権下にあつた時期にあたる一九三七年に日本で刊行された、「国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた」という書き出しで始まる文学作品の作者として正しいものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解

答番号は

16

。

① 芥川龍之介

② 石川啄木

③ 梶井基次郎

④ 川端康成

⑤ 菊池寛

問13 二重傍線部(イ)～(ホ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答

番号は 17 く 21。

(イ) テンサク

17

- ① 食品のテンカブツを調べる
- ② シュッテンとなる資料を示す
- ③ 損失をホテンする
- ④ 新たな事業をテンカイする
- ⑤ 商品がテントウに並ぶ

(ロ) キュウソク

18

- ① キュウリヨウ地帯の風景を眺める
- ② 汚職についてキュウダンする
- ③ 生活のキュウジヨウを訴える
- ④ 鉄道がフツキュウする
- ⑤ サツキュウな対応を求める

(ハ) カクジユウ

19

- ① 保守政党とカクシン政党が争う
- ② 隣の人とのカンカクをあける
- ③ 規制の範囲をカクダイする
- ④ ケツカクの治療を受ける
- ⑤ ガイカク団体を設立する

(ニ) ホウセイ

20

① 夫婦ベツセイの議論

② 規制緩和のヨウセイ

③ 選手団の海外エンセイ

④ セイテツ業で栄えた町

⑤ 設備のイツセイ点検

(ホ) キョウベン

21

① 野菜がキョウサクとなる

② 演奏にキョウジャクをつける

③ 互いにダキョウできる点を探る

④ 金融キョウコウが始まる

⑤ 苦しいキョウチュウを明かす

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～6）に答えなさい。

ひらがなカタカナの成立前に生まれた万葉集は、すべて漢字で記されている。いわゆる万葉仮名だ。中には、なぞなぞのような表記もあつておもしろい。^(イ)ある一首は、人知れぬ恋が顔色に「山上復有山」ば、と書かれている。山の上にまた山で「出」出でば、と読む。

こちらはどうかろう。あの人と一夜とて別には過ごせない、「二八十一」ないのに——という相聞歌だ。^(ロ)答えは X。八十一をククと読ませるのは、かけ算の九九によるそうだ。「二三」と読むのもあつて、あの暗記法はとも古くからあるらしい。奈良県の藤原京跡で見つかったいた木簡は、九九の一覧表の一部だった。新たに判明したと先日の記事にあつた。大きさをすると、古代の役所に置かれていたという。

九九は中国から伝わり、当時の役人にとってはすでに基礎的な教養だったそうだ。確かに、税の計算をするにも物の管理をするにも、四則演算は必須であつたらう。^(ハ)

でも覚えが悪いのはいたはずで、人知れず「二ニンガシ」「二サンガロク」とそつと繰り返していたに違いない。我が身をふりかえれば、運良く九九はすり抜けたが、高校での三角関数には泣かされた。サインコサインタンジェント。呪文のような公式は、何度聞いてもこんがらがった。

万葉集ならば「二二苦八苦」と書くところだろうか。四苦八苦。数字や記号を丸のみする大変さは、いつの時代も変わるまい。^(ホ)古代の役人に会えたら「よう、ご同輩」と、励ましあえる気がする。

（『朝日新聞』 二〇二四年九月八日 「天声人語」による）

問1 破線部ア「いわゆる」の本文中の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 22。

- ① 仮に名づけるなら
- ② 簡単な表現にすれば
- ③ 一般で言うところの
- ④ 専門用語を駆使すると
- ⑤ あまり知られていないが

問2 破線部「なぞなぞのような表記」とあるが、和歌の技法のうち同音異義語を用いて一つの表現に重層的な意味を含ませるものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

23。

① 枕詞

② 掛詞

③ 序詞

④ 縁語

⑤ 本歌取り

問3

空欄

X

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

24

。

- ⑤ 「低く」
④ 「早く」
③ 「痛く」
② 「難く」
① 「憎く」

問4

破線部ウ「呪文のような公式」とあるが、ここで用いられている比喩の分類として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

25。

① 暗喩

② 提喩

③ 擬人法

④ 直喩

⑤ 換喩

問5

本文の内容についての説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

26。

- ① 万葉仮名をはじめとする古代人のユニークな表記法や言葉遊びの面白さを紹介し、日本語表現の豊かさを伝えている。
- ② 苦勞して難しい記号や数式を暗記したところで、日常的な暮らしの中でそれらを活用することができれば学習の意味はないことを述べている。
- ③ 先進地域からの文化移入を推進した古代人の先見性を称賛し、基礎的な数学ですら毛嫌いする現代人の学習態度の甘さを戒めている。
- ④ 四則演算に苦勞した古代の役人のエピソードや現代の学校教育における学習内容の負担の大きさに触れつつ、苦手科目を克服することの重要性を述べている。
- ⑤ 古代より人々が生活の中で数字や記号に苦勞してきたことを示しつつ、その姿を共感とユーモアを交えて描いている。

問 6 二重傍線部(イ)～(ホ)の品詞名を、後の①～⑧の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は

27

～

31

。

(イ) 表記もあつておもしろい

(ロ) あの暗記法はどうも古くからあるらしい

(ハ) 四則演算は必須であつたろう

(ニ) そつと繰り返していたに違いない

(ホ) いつの時代も変わるまい

31

30

29

28

27

① 名詞

② 動詞

③ 形容詞

④ 連体詞

⑤ 副詞

⑥ 接続詞

⑦ 助詞

⑧ 助動詞

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2026年度一般入試(1月30日)【国語】

『朝日新聞』2024年9月8日「天声人語」

朝日新聞社(承諾番号:26-1408)

※上記記事に関して朝日新聞社に無断で転載することを禁
じます。